

年末・年始の交通事故防止県民運動実施要綱

1 目 的

年末・年始の繁忙期には交通事故の多発が懸念されることから、県民一人ひとりの交通安全意識を高め、交通事故防止を図ることを目的とする。

2 実施時期

令和4年12月1日（木）～令和5年1月6日（金）

3 主 唱

岡山県・岡山県交通安全対策協議会

4 スローガン

「新年へ 無事故のタスキ つなごうよ」

5 運動の重点及び推進項目

(1) 飲酒運転の根絶

- ・ 飲酒は量の多寡にかかわらず、運転に必要な認知・判断・操作に悪影響を及ぼすとともに、飲酒運転は重大事故を招く危険極まりない犯罪行為であることを踏まえた広報啓発の推進
- ・ 「飲酒運転4(し)ない、3(さ)せない運動」を推進する。

- | |
|--|
| <p>【4(し)ない】 ①酒を飲んだら運転しない。
②運転するなら酒は飲まない。
③酒を飲んだ人の車には同乗しない。
④使用者は、従業員に飲酒運転を命じたり、認めたりしない。</p> <p>【3(さ)せない】 ①酒を飲んだ人には、車を運転させない。
②酒を飲んだ人には、車を貸さない。
③運転する人には、酒はすすめない。</p> |
|--|

- ・ 「ハンドルキーパー運動」の推進
- ・ 自転車の飲酒運転による転落事故の発生実態を踏まえた、自転車での飲酒運転禁止の周知徹底
- ・ 飲酒会合の翌朝等における二日酔い（酒残り）状態での運転の危険性と禁止の周知徹底
- ・ 運転者の点呼時におけるアルコール検知器の使用促進や、業務に使用する自動車の使用者等における義務の遵守の徹底

(2) 夕暮れ時・夜間等における交通事故防止

- ・ 自転車や自動車の「午後4時からのライト点灯」の徹底
- ・ 対向車や先行車がない状況における自動車のハイビームの活用
- ・ 夕暮れ時や早朝といった薄暗い時間帯や夜間における明るい目立つ色の衣服の着用と夜光反射材・LEDライトの使用の徹底

(3) 高齢者の交通事故防止

- ・ 「高齢者交通安全5則」及び高齢者の加齢に伴う身体機能の変化を踏まえた安全行動の重要性を周知する。

高齢者交通安全5則

- まっ (次の安全を待つ)
- みる (周囲の状況を見る)
- むりせず止まる (交差点などでは無理せず止まる)
- め立つ (夜光反射材を着用して目立つ)
- もっと知る (自分の身体機能の変化をもっと知る)

- ・ 高齢歩行者に対する周知徹底事項
 - 横断時の横断歩道の利用
 - 横断開始時のみならず横断中の安全確認の徹底 (道路中央部からは左から進行してくる車両の確認を徹底)
 - 斜め横断、車両の直前直後の横断、横断禁止場所における横断の禁止
 - 押しボタン信号のある横断歩道における信号の遵守
 - 片側2車線以上の多重車線では、信号機のある交差点の横断歩道を横断することの周知徹底

(4) 信号機のない横断歩道における歩行者優先等の徹底

- ・ 運転者に対する周知徹底事項
 - 横断歩道接近時の減速、横断歩道に横断者や横断しようとしている歩行者がある場合の一時停止とその通行を妨げないようにすること等、道路交通法に定められた横断歩道における歩行者優先に関する義務の遵守
 - 道路標識や予告標示 (いわゆる「ダイヤモンド」) への留意
- ・ 歩行者に対する周知徹底事項
 - 道路横断時の横断歩道の利用
 - 手上げやアイコンタクトにより運転者に対して横断する意思を明確に伝えること

(5) スピードダウンの励行

- ・ 速度超過の危険性及び制限速度遵守の重要性の周知徹底
- ・ 安全運転管理者、運行管理者選任事業所をはじめとした関係機関・団体による各事業所や地域住民に対するスピードダウンの取組への働きかけの実施

(6) 運転中のスマートフォン等使用禁止の徹底

- ・ 運転中のスマートフォン等での通話や画面注視といった「ながら運転」の危険性、ルール遵守の重要性及び罰則に関する広報啓発の推進
- ・ 「ながら運転」禁止の徹底に向けた地域、職域、各関係機関・団体等における取組の強化

6 効果的な広報啓発活動の推進

広報紙やインターネット、SNS、ケーブルテレビ等あらゆる広報媒体を効果的に活用し、スローガンを統一的に使用して広報啓発することにより、本運動の浸透を図る。

7 留意事項

各関係機関及び団体は、日ごろ実施している活動に加え、それぞれの所管及び特性に応じ、重点等に沿った活動を実施し、県民総ぐるみの運動となるよう努めるほか、「ゆずる・とまる・まもる」という交通マナーアップや交通ルールの遵守を促進する。